

日本語教育通信

日本語コンテスト特集号

発行日：2019年4月24日
発行：国際交流基金 派遣
日本語指導助手 大内 将史

お待たせいたしました。「トルクメニスタンの日本語教育の今をお伝えする」『日本語教育通信』半年近く休刊していましたが、復活です。

日本で4月といえば、新年度の開始、新歓、お花見の季節ですが、ロシアとCIS圏では、日本語スピーチ大会の嵐の季節です。それは、このトルクメニスタンの地でも例外ではありません。

来たる4月27日は、「トルクメニスタン日本語コンテスト」です。このコンテストは2018年に始められ、今年が記念すべき第二回目です。詩の暗誦、スピーチ、パフォーマンスの3部門で学生たちが日頃の学習の成果を披露します。さて、実はこのコンテストのスピーチ部門、例年秋にモスクワで行われるスピーチ大会の代表選考を兼ねているのです。

というわけで、現在コンテストに向けて、自分の実力を試したい！モスクワ行きたい！！等々アシガバットの学生たちは燃えています。

✦ 大学の窓①【アザディ名称世界言語大学】

アザディ大学では、日本語コンテストのスピーチ部門の初級・中級合わせて26人が代表の座を賭けてしのぎを削りました。まずは、一次審査のテキスト選考で26人から14人へ。そして、学内スピーチ発表会で最終的に代表者8人に絞り込みました。落とすには惜しいスピーチも少なからずあり、審査したアザディ大学の講師陣は、選考に漏れた学生共々、涙を飲む思いでコンテストの申込用紙に代表者名を記入しました。学生と二人三脚でコンテストに向けて指導を続けています。



アザディ大学選考会の様子
特に一年生は、戦々恐々でした…。



✦ 学生さんに聞きました

— スピーチに参加するアザディ大学の学生に聞いてみました。

Q: 今回のスピーチへの意気込みは？

A: 今回は2回目のチャレンジなので、いい結果を残したいです。

Q: 自信は？

A: もちろん、あります！！(笑)

Q: あなたにとって、スピーチの面白さとは？

A: みんなの前で話すのは、面白いです。そして、自分の意見をみんなに伝えられるのは嬉しいです。

✦ 大学の窓②【国際人文開発大学】

こんにちは。こちら国際人文開発大学日本語教師の日高です。

こちらの大学からは、詩の朗読に二人、スピーチの部門Aに一人がエントリーしています。

詩の朗読の学生の一人は、課題の詩を全部覚えて、最近は毎日のように私のところに来てくれます。しかし、ところどころおかしな発音があり、それを直すために効果的な指導方法を模索する毎日です。

スピーチに出る学生も、4月上旬、中間テスト前にも関わらず、原稿を仕上げようと毎日のように来てくれました。ただ、最初の原稿では、言葉や文法の問題がありなかなか意図が伝わりませんでした。そこでまず、自信を持って使える表現で短い文を作らせ、それから、学生に質問を繰り返して文を磨いていくという作業をしました。

日々悩みながら、学生と共に楽しんで、コンテストの当日を迎えたいと思います。

✦ 日本語コンテストスピーチタイトル一覧

日本語コンテストのメインとも言えるスピーチ部門。今年の発表のタイトルは以下の通りです。

部門Aは、日本人にぜひ伝えたい「トルクメニスタンの自慢」が共通テーマとなっています。

日本語学習歴2年以上の学生が参加する部門Bは、共通テーマ設定はありません。

スピーチ部門A

謎に包まれた私の故郷
トルクメニスタンの客好き
トルクメニスタンの文化
トルクメンの結婚式
一番の宝物
トルクメン人の友達
不思議な場所

スピーチ部門B

出生率が低下した理由
目標が変わった夢
お金持ちになりたくないです
幸運はあなた次第
せかいで一番大きい宝
プロジェクトワークと私
ゆめのひみつ
しあわせってなんですか

各部門の一位に輝くのはどのスピーチでしょうか。乞うご期待！

✦ 問題な日本語

スピーチの原稿に限らず、日々授業をしていると様々な「ん!?!」という表現に出会います。

何が、どうして問題なのでしょう。（答えは枠外下）

- ・土よう日のけさ、大学で勉強しました。
- ・友だちといっしょに料理をしました。



日本語教育通信は、毎月25日頃の発行です。